

〈参考資料〉

2019年12月25日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

魚介類の核種分析結果〈福島第一原子力発電所港湾内〉

試料名 (部位)	採取場所	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
クロダイ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	2019年11月4日	ND(3.0)	ND(3.2)	ND
マコガレイ(筋肉) No. 1	1F港湾内(港湾口付近)	2019年11月4日	ND(2.5)	2.3	2.3
マコガレイ(筋肉) No. 2	1F港湾内(港湾口付近)	2019年11月4日	ND(2.5)	21	21
マゴチ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	2019年11月4日	ND(3.1)	11	11
ヒラメ(筋肉)	1F港湾内(物揚げ場前)	2019年11月29日	3.7	46	49.7
ケムシカジカ(筋肉)	1F港湾内(東波除堤北側)	2019年11月27日	ND(3.3)	3.1	3.1
シロメバル(筋肉)	1F港湾内(東波除堤北側)	2019年11月27日	54	830	884
マコガレイ(筋肉) No. 3	1F港湾内(東波除堤南側)	2019年11月19日	ND(3.2)	32	32

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載し、個別の核種については()内に検出限界値を示す。

※ 基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計: 100Bq/kg。